みんなの 信毎こども記者必見！

信毎こども新聞ができるまで

みんなが書いてくれた記事が、どういう行程を経て、信毎こども新聞にのっているかを紹介します。記事の内容の確認、紙面のレイアウト、印刷…実にいろんな人が関わっています。なんだろう？ おもしろい！ 伝えたい！ことがあったら、信毎こども記者クラブまで気軽に記事を送ってくださいね。

記事を書く

みんなのチャレンジ待ってるよ！

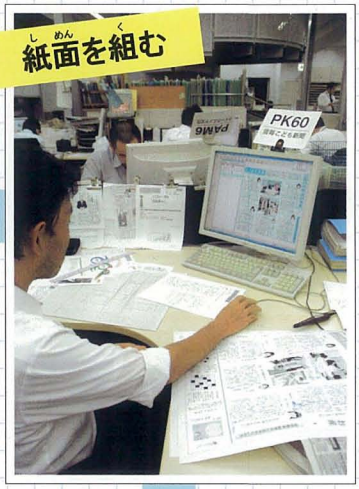
- □自由なテーマで記事を書く →いつでも募集中。
- □こども取材教室で記事を書く
- □信毎こどもスクールに参加して、記事を書く

記者の「七つ道具」をさがしてなーの

記事をチェック

信毎地域活動部の記者が、こども記者の記事を読んで、分かりやすく書けているか、内容が正確かなどをチェックします。こども記者本人や取材先へ直接、確認することもあります。

紙面を組む



整理記者がこども新聞の紙面を組んで（形にして）いきます。記事の「見出し」も整理記者がこども記者の記事を読んでつけます。

記事を再びチェック

写真の色がきれいかどうかもチェックするなーの

組み上がったこども新聞の紙面（ゲラ）を、文章のまちがいがないかなど、記者が再度確認します。

印刷する

製作センターの見学は無料でできるよ TEL026-286-6700（長野製作センター）

新聞を印刷する大きなロール紙。再生紙を利用しているよ

長野市と塩尻市にある製作センターで、大きな印刷機（輪転機）によって新聞を印刷します。こども新聞がのる日曜日の朝刊は、約49万部も刷られています。

完成！

信毎の新聞配達人さんは県内に約9000人もいるなーの

新聞屋さんによって、みんなの手元へ届けられています。

初めての人大歓迎なーの

次の取材教室は…

長野県知事にインタビューしよう！

阿部守一知事

日時＝11月6日[土] 14:30～16:30

会場＝松本合同庁舎

参加したい人は：自分の名前（よみがな）、住所、電話番号、学年、保護者の人の名前、県知事への質問を書いて、信毎こども記者クラブへハガキかファクス、電話で申し込んでください。お友だちもさそってね！

ここだけのヒミツ！ ベテラン記者の失敗談

みんな 最初は 一年生

15本目

【入社26年目】報道部の部長 渡辺秀樹記者

火事の現場は一体どこだ!?

駆け出しは松本本社報道部でサツ回り（警察担当）でした。久しぶりの休日のある日、当時、男性にもはやっていたパーマ（パンチではない）をかけに床屋さんに行きました。カーラー（髪を巻く筒のようなもの）をいくつも頭に付け、お釜のような形のドライヤーをかぶっていたその時、*ポケットベルが鳴りました。

床屋さんの電話を借りて会社に電話すると、「火事だから、すぐに現場へ行け」との指示（当時の新人は休日でもよく呼び出されました）。慌ててお釜とカーラーを外してもらい、車で飛び出しました。

ところが、「現場」と聞いていた場所付近に行っても火事らしきものは見つかりません。どうやら「火事」はすぐ消えたボヤで済み、消防車も引きあげたようなのです。それでも、確認して会社に報告しなければならないので、「現場」を探し回りました。すると、顔見知りの警察官が引きあげてくるのに出くわしました。思わず聞きました。「火事はいったいどこなんですか」

「おまえの頭だ！」

*ポケットベル＝携帯電話がないころ、カードくらいの大きさのポケットベルが「ピー、ピー」と鳴ると、記者は近くの公衆電話を探して会社に電話しました。

信毎の新聞語 第8版

【吹き込み】

ふき・こみ

事件や事故で現場に出ている記者が、記事を編集局のデスクなどに電話や無線機で読み込むこと。記事はふつう、パソコンで打つが、その時間がない時や、パソコンを持っていない時などは、言葉で記事を伝え、電話などを受けた人が入力する。

地域活動部の新スタッフ＝○○居住記者
「山寄さんに次いでこちら記者の担当になりました。私の娘は1歳で、新聞は…ひひひ娘さのガ大好き。一緒に面白い紙面を作ろうね。373、4649」